
Jardim do Príncipe Real ou Jardim França Borges

について

プリンシペ・レアル庭園 / フランサ・ボルジェス庭園 (Jardim do Príncipe Real ou Jardim França Borges) 共和主義者のジャーナリストの名をとってフランサ・ボルジェス公園と名付けられたこの公園は、メルセス (Mercês) 地区にあり、別名プリンシペ・レアル庭園とも呼ばれています。

イギリス・ロマン主義の影響を受けてつくられた園内には、高さ20メートルを越す樹齢100年の「ブサコのヒマラヤスギ」が立ち、公園を見守り続けてきた記念碑的な存在となっています。また、園内に複数ある小宮殿は、ロマン主義の19世紀リスボンを今に伝えています。公園の下には、公園と同時期につくられた、EPAL水博物館 (Museu da Água da EPAL) 所有のパトリアルカル貯水池 (Reservatório da Patriarcal) があります。

他にも、アンテロ・デ・ケンタールの没後100年を記念して作られたラゴン・エンリケスの像をはじめ、さまざまな彫刻、サンドイッチの売店と東屋、池、さまざまな遊具のある子どもの遊び場、ゲームテーブルが備えられた休憩所があります。

特色とサービス

バー
レストラン

アクセス

バス
